

雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉



虹

小林貴子

伴走の虹あり海へ向ふ道
夏休み第四象限が好きよ
鶴の子を鴛がねらふ諏訪の湖
よく雲の走り行く日や蓮の飯
朔日路残像となる狐の尾
敗戦日鉛の如き読後感
渡るより泳ぎ続けむ天の川
懊悩の解けて眠りぬ糸瓜水
快く譲りたるのち惜しむ夏
ソネットのやうな雲行く立原忌